

市教委は事故原因を徹底究明すべきだ

橋爪議員などが文教経済常任委員協議会で主張

8月10日。柿崎区の屋内水泳プールで、あつてはならない事故が発生しました。監視員が3人いたにもかかわらず小学1年生がおぼれ、意識不明の重態となったのです。子どもの夏休み中の事故は昨年の金谷山ボスレー場での事故に続くもので、子どもの安全を守るため、もつとしっかりした安全策を、との声があがっています。

市教育委員会は27日に開催された文教経済常任委員協議会で、今回の事故について経過を報告するとともに、事故後の対応、今後の対応などについて説明しました。

市教委の説明によると、事故は同日の午前11時40分頃発生しました。市内在住の小学1年生の女子児童が水深1・2メートルの所で沈んでいるのをその友だちが発見、プールサイドの監視台の上にいる監視員に救助を求めました。その監視員は、ただちに事務室にいた別の監視員に知らせ、知らせを受けた監視員がプールに飛び込み、女子児童を引上げ、人工呼吸と心臓マッサージの救命措置をとったといえます。しかし、一時、自発呼吸できたものの、意識不明の重態となりました。

橋爪議員などは、「今回の事故のしつかりした原因究明が重要だ。警察が現在、事故原因を調査中といっても、行政で原因究明すべきだ」「監視員が3人いても同じ方向からの監視だったから死角が生まれたのではないかなどと追及しました。市教委側は監視のやり方に不十分さがあつたことは認めましたが、この事故との関連で市教委に責任があつたかどうかについては言及を避けました。事故後、市教委は監視員を増員して4人体制とする、浮き輪などの遊具の使用は禁止する、泳げない子どもについては、必ず保護者の付き添いをお願いするなどの措置をとりました。」

杉本団長の総括質疑項目

1. 議案第187号 平成18年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について

- (1) 合併2年目の決算であるが、合併協定や新市建設計画がどう実行され、実現されたかについて触れられていないのはなぜか。どのように評価しているのか。
- (2) 学校耐震化率は平成18年末現在で63.8%である。いつまでに100%とするのか。計画はあるのか。

2. 議案第222号 上越市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について

- (1) ごみの有料化について、市民の合意はどのようにして得たのか。

3. 議案第206号 平成19年度上越市一般会計補正予算

- (1) 激甚災害指定に向けた、これまでの取り組みと見通しはどうか。
- (2) 生活再建支援、経営再建支援のためには、復興基金の創設が必要であるが、市として国・県にどのような働きかけをしてきたのか。
- (3) 地震で文化財等が被害を受けたと思うが、調査等はどのように行われているのか。



写真はダイミョウセリ。尾神岳にて16日撮影。

9月議会の日程

開会時間はいずれも午前10時

月 日(曜日)	会議名	会議室
9月 4日(火)	本会議(質疑)	議場
5日(水)	本会議(質疑)	議場
6日(木)	文教経済委員会	第1委員会室
7日(金)	文教経済委員会	第1委員会室
10日(月)	文教経済委員会	第1委員会室
11日(火)	厚生委員会	第1委員会室
12日(水)	厚生委員会	第1委員会室
13日(木)	厚生委員会	第1委員会室
14日(金)	建設企業委員会	第1委員会室
18日(火)	建設企業委員会	第1委員会室
19日(水)	建設企業委員会	第1委員会室
20日(木)	総務委員会	第1委員会室
21日(金)	総務委員会	第1委員会室
25日(火)	総務委員会	第1委員会室
26日(水)	本会議(一般質問)	議場
27日(木)	本会議(一般質問)	議場
28日(金)	本会議(一般質問)	議場
10月 1日(月)	本会議(一般質問)	議場
2日(火)	本会議(一般質問)	議場
4日(木)	本会議(討論・採決)	議場

日本共産党上越市議員団ニュース

105 2007年9月2日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
 樋口良子 544-6802 (中門前3)
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)